

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 3 月 10 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	コーホク印刷株式会社 高効率空調機・高効率照明器具への更新プロジェクト及び 排気ファン設備へのインバータ制御設備導入プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0063
排出削減事業者名	コーホク印刷株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅 株式会社
事業実施場所	コーホク印刷株式会社 長船工場 (岡山県瀬戸内市長船町服部 321-9)
事業の概要	第二印刷工場の既設空調設備を高効率型空調設備に更新することで電力使用量の低減化を図り、CO2 排出量を削減する。また、第一及び第二印刷工場の照明設備を省エネルギー型の照明設備に更新することにより電力使用量の低減化を図り、CO2 排出量を削減する。 さらに、第二印刷工場の排風設備へのインバータ設備の導入によりファンの回転数制御により電力使用量の低減化を図り、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	104 tCO2/年 (事業実施期間合計 376tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 9 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新 方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入 方法論番号 006 照明設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2009年9月1日～2010年1月31日（第1回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画の「モニタリング対象指標のQA/QC」に基づき算定されており、適正であることを確認した。

排出削減量	33t-CO2
-------	---------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 排出削減事業計画通り、事業が開始されていることを確認した。 2009年9月1日</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後の空調設備、インバータ設備、照明設備は実績確認期間中継続的に稼働していることを確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、更新後の空調設備、インバータ設備、照明設備が導入されていること、及び本実績期間において稼働していることを、モニタリング対象指標の実績により確認した。具体的には、排出削減実施後の照明、空調、ファンの積算電力量について、担当者が記録・管理し、当該データを元に正確に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 承認排出削減計画から変更が無いことを、証拠の確認等により確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認</p>

	<p>排出削減量の算定式及び使用されている活動量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>算定期間は 2010 年 1 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えていない。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算25.7klであることを確認した。

以上